

特定非営利活動法人
21世紀大学経営協会
副理事長 關 昭太郎

「大学改革 全般について」

1. 産業界から見た大学像
 - 今まで何が問題だったのか
 - 最も大事な問題：Management がなかった
 - 産業界に比べて高い報酬
 - 「心身脱落」・「脱構築」の精神

2. 大学人の心構えーガバナンス不在
 - Ethnocentrism 症候群に罹った病人
 - イノベーションするために何が大事か
 - ① 評価制度
 - ② 学長・理事長の権限
 - ③ 予算・決算・人事について
 - これからの大学のトップのなすべきこと

3. 放漫経営大学の改革策
 - 大学は構造不況業種
 - カニバリゼーションの発動
 - 脱出するための具体策

4. 一段と厳しくなる大学経営
 - 大学の乱立、経営者不在
 - どうしてこうなったか、見取図を描いてみれば

5. 大学院について
 - ヌエ的存在の大学人を相手にやりにくい
 - 大学制度のあり方の影響
 - 文科省抜きのリベラルアーツスクール ー教養学科大学院ー

結 論

大学がイノベーションを言行一致で且つ積極的になりふり構わず実践することによって、我が国は国際的によい地位を確保できる。